

2022年2学期終業式にあたり

2022年も残すところあと1週間あまりとなりました。

2学期は1年の中で最も長く、実りの多い学期です。夏休み明けの蒼輝祭から始まりロードレース、文化祭、部活動では代替わりの新人戦など多くの行事がありました。また3年生は進路実現に向け毎週末のように行われる模擬試験や就職・進学の実験など忙しくも充実した日々ではなかったでしょうか。冬休み中にじっくりとこの1年を振り返り、来たるべき年に向けて新たな目標設定をして欲しいと思います。

この2学期の行事の中で私の最も印象に残ったものを1つ。文化祭の馬場啓介先生の講演です。自分は運がいいと思っていると運に恵まれる、天使の口癖すなわちポジティブでプラスの口癖を意識する。また脳は主語を理解しないので言った言葉がそのまま自分に降りかかるので他人を批判する言葉を言わない。1日10回はありがとうを言う、などなど。実践していますか。私も意識するようにしています。

ちなみに私の天使の口癖は「じゃ、まっ、いいか」です。どんな仕事も、時間の許す範囲で精一杯考えて、ある程度のところでここまで頑張って準備し、これだけやったんだから「じゃまっいいか」なんとかなるさと開き直って仕事に臨むようにしています。実はこの終業式の挨拶もなかなかできず、昨日の朝まで考えて読み直してみてもまだまだかなと想いながらも「じゃまっいいか」となりました。

もう一つこの講演会では話の内容もさることながら講演会の雰囲気。これまで私が参加した講演会のなかで1・2を争うものでした。話し手の聞き手を引きずり込む巧みな語り口はもちろんのこと、聞く方も真剣に耳を傾け、後半の質問コーナーも質問がどんどん出て、その質問に対しユーモアを交えながら的確なお答えをいただき、盛り上がり、素晴らしいライブ感で、内容もすんなりと入り、納得することができました。講演会后馬場先生とお話ししていても最高の講演会だったとお言葉をいただきました。このライブ感については授業にも同じ事が言えると思います。先生の授業に対し聞き手である生徒の皆さんが能動的に授業にしっかりと耳を傾け疑問点はどんどん質問することで雰囲気を創り上げる事ができます。そうすることによって授業にライブ感が増し、楽しみながら内容も頭に入りやすくなるのではないのでしょうか。1・2年生にとっては3学期はまとめの学期です。是非ともそのように先生と一緒にライブ感のある授業をつくりあげ成果を上げて欲しいと思います。

さて3年生は共通テストまであと3週間あまり、これまでやってきたことを信じて最後のまとめをしてください。それこそ、前日までやるだけのことをやればあとは「じゃまっいいか」と開き直って。馬場先生も言うておられました。「自信のある人なんていない。自信のあるふりをしている人に運が向いてくると」

さてコロナも第8波に入ったと言われ、なかなか安心できない日が続きますが、まずは手洗いうがい手指消毒など自分たちでできることを徹底して3学期に備えましょう。1月10日には皆が元気で登校できることを期待して挨拶とします。

2022.12.22